

## J-PARC センター名古屋大学分室の設置について

10月26日(金)に、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(以下、「KEK」という。)と名古屋大学(以下、「本学」という。)における研究拠点の構築に関する覚書の調印式が、茨城県那珂郡東海村の J-PARC センターにおいて執り行われました。

J-PARC(Japan Proton Accelerator Research Complex)は、KEK と日本原子力研究開発機構が運営する、素粒子物理、原子核物理、物質科学、生命科学、原子力など幅広い分野の最先端研究を行うための大強度陽子加速器施設であり、この覚書によって、J-PARC センター名古屋大学分室が設置されます。調印式には、本学から、高橋 雅英 理事(研究担当)、飯嶋 徹 現象解析研究センター長、中村 光廣 未来材料・システム研究所教授、澤 博 工学研究科教授、KEK からは、岡田 安弘 理事(研究担当)、幅 淳二 理事(J-PARC 担当)、齊藤 直人 J-PARC センター長が出席されました。

本学の分室が設置されることに伴い、今後、同施設を利用する研究者等の利便性等の向上による共同研究等(ミュオン・中性子を用いた素粒子原子核実験、量子ビームを用いた多様な物質科学研究、大型実験装置の共同開発、素粒子原子核実験測定器の共同開発等)の更なる推進や、大学院生参加による国際通用性のある人材育成、国際的プレゼンスの確保、研究交流・グローバル化推進等の波及効果も期待されます。

なお、本学と KEK は、平成 20 年に連携・協力の推進に関する協定を締結し、共同研究・人材交流を進めています。現在も複数の部局(理学研究科、工学研究科、生命農学研究科、未来材料システム研究所、素粒子宇宙起源研究機構 等)の研究者等が J-PARC の施設を活用した共同研究等に参画し成果を挙げています。

調印式の後、J-PARC の代表的な施設であるニュートリノ実験施設、ハドロン実験施設、物質・生命科学実験施設(MLF)の現地での概要説明が行われ、その後、分室が設置される KEK 東海1号館に移り、高橋理事による J-PARC センター名古屋大学分室の看板掲揚が行われました。